

まとめの問題

1 () に当てはまる適切な語句を、ア～コの中から選びなさい。

- (1) 多くの傷害は、人が関係する人的要因や環境が関係する環境要因が(① かんきょう)発生する。
- (2) 人的要因には、(② じんてき) や (③ じんてき) のしかたなどがあり、環境要因には、道路や場所、(④ じょうしょ)の状態、(⑤ じょうたい)条件、法律・規則などがある。
- (3) 交通事故は、人的要因と(⑥ じんてき)の状態、道路環境、気象の条件などの環境要因が関わり合って発生する。
- (4) 犯罪被害を防止するためには、危険であると思われる場所には(⑦ けいがん)、夜一人で出歩かない、SNSで知り合った人と簡単に(⑧ さくわん)など、危険を予測し、判断して、(⑨ けんけつ)をとることが必要である。
- (5) 犯罪被害を防止するためには、周囲の人の関心を(⑩ かんじ)、犯罪に巻き込まれないインターネット環境をつくるなど、環境要因への対応が必要である。

ア. 会わない	イ. 関わり合って	ウ. 行動	エ. 施設・設備
オ. 自然・気象	エ. 車両	キ. 心身の状態	ク. 高める
ケ. 近づかない	コ. 犯罪を避ける行動		

2 交通事故による傷害を防止するための対策例を2つ答えなさい。

3 () に当てはまる適切な語句を、ア～クの中から選びなさい。

- (1) 自然災害には、(① じしん)、台風、大雨、竜巻、火山の(② たつまき)、落雷、大雪、などがある。
- (2) 地震にともなって、(③ じしん)、土砂崩れ、地割れ、火災などの(④ どしゃくず)が発生することがある。
- (3) 自然災害による傷害を防止するためには、地域の(⑤ かくにん)などを確認し、周囲の環境を把握しておいたり、(⑥ あく)を行い、災害が発生したときの対処のしかたを身に付けておいたりすることが重要である。
- (4) 自然災害が発生したときには、テレビ・ラジオなどで出される(⑦ は)や気象庁などの防災情報、インターネットなどから正しい災害情報を得て、周りの状況を的確に判断し、(⑧ は)ことが必要である。

ア. 安全に行動する	イ. 緊急地震速報	ウ. 地震	エ. 津波
オ. 二次災害	エ. ハザードマップ	キ. 避難訓練	ク. 噴火

4 人が倒れていて反応がなく、呼吸もない場合の応急手当の手順について、ア～オを正しい順に並べて（　）に記入しなさい。

傷病者を発見 → (①) → (②) → (③) → (④) → (⑤)
→ 救急隊に引き継ぐ。

- ア. 肩を優しくたたきながら大声で呼び掛け、傷病者の反応を確認する。
 イ. 胸骨圧迫を行う。AED を活用する。
 ウ. 呼吸を観察する。
 エ. 周囲の安全を確認する。
 オ. 周囲の人々へ連絡をして、協力者を求める。

①	②	③
④	⑤	

5 () に当てはまる適切な語句を、ア～セの中から選びなさい。

- (1) 傷害が発生した現場に居合わせた人が、一時的に行う最小限の手当を(①)という。
 (2) (①)の目的は、(②)こと、けがや病気の(③)，傷病者の(④)，^{はげ}励ますことである。
 (3) 身の回りで起こる外傷で多いのは、(⑤)，(⑥)(擦過傷)や鼻出血などである。
 (4) (⑤)・(⑥)や刺し傷の(①)の基本は、汚れを(⑦)でよく洗い落として患部を(⑧)ことである。清潔に保護することで細菌からの(⑨)ことができる。
 (5) 出血しているときは、悪化防止と傷病者の(④)るために、患部を(⑩)し、包帯を用いて固定するなどの(⑪)を行う。
 (6) 多量な出血がある場合は、ガーゼや(⑫)を当てて、直接、患部を強く押さえる(⑬)で止血を行う。圧迫によって、血管が圧迫されて血液が(⑭)やすくなる。この方法は、出血をしているときの手当として最も有効である。

- | | | | |
|------------|------------|----------|----------|
| ア. 悪化防止 | イ. 応急手当 | ウ. 固まり | エ. 感染を防ぐ |
| オ. 切り傷 | エ. 苦痛を和らげ | キ. 止血 | フ. 水道水 |
| ケ. 擦り傷 | コ. 清潔にしておく | サ. 生命を救う | |
| シ. 直接圧迫止血法 | ス. ハンカチ | セ. 保護 | |